

昭和10年 白帯津中(津山中学校)の凱旋

がいせん
写真提供・江見写真館

写真は昭和10年(1935)に行われた第5回全国中学校選抜柔道大会で優勝した津山中学校(現津山高等学校)柔道部が津山へ凱旋した時のものです。津山駅前の広場で、柔道部の全国制覇を祝うため、



現在の津山高等学校柔道部

このコーナーに掲載する懐かしい津山の写真を募集しています

問い合わせ先

〒708-0022 津山市山下92
津山郷土博物館 ☎22-4567

市民や関係者がたくさん集まっています。これから記念式典が行われるのでしょうか。関係者と思われる人が、挨拶をするように見られます。当時の津中柔道部は「白帯津中」として全国に名が知られ、大正12年(1923)〜昭和11年(1936)の間に、3連覇を含む計7回の全国制覇を成し遂げた強豪でした。「白帯津中」の「白帯」とは、部員全員が段位を取らないで白帯を締めていたことによるものです。「津山高校百年史」には「少々技が上達しても、黒帯を締めて慢心が生じたら終わりである。道は常に心の修行が第一であることを生徒たちは自覚していたのである」と記されています。

戦後の武道禁止など受難の時代を乗り越えて「白帯」の伝統は昭和40年代まで続きます。その頃から、中学校で段位を取って入部する生徒が見られるようになり、有段者が白帯を締めることは違反行為ということ、その伝統に幕を下ろしました。

表紙について

津山だんじり

10月23日、ソシオー番街

津山まつりの一つ、津山城下の総鎮守、徳守神社の秋祭り。今年は16台のだんじりが市内をにぎやかに練り回りました。曳き手が力強く駆け出すと、鐘の音も早まり、勇壮な祭りに一層の熱気を吹き込みます。



寒がりの人は、痩せている、太っているにあまり関係なく、筋肉量が少ない人が多いらしい。冬を暖かく過ごすためにも筋トレだ。腕立て伏せ! えっさ。腹筋! ほいさ。スクワット! …あー、疲れたー。(次の日) …ごほ。ごごほ。…た、体力を使いすぎて風邪を引いてしまった。(〜)

この職場に異動して9カ月。月日が経つのは早く、反省することがたくさんできて、ゆっくり振り返る間もなく、時間は過ぎるばかり。そして相変わらず掃除ができていない私の部屋。「お正月までに部屋をきれいにする作戦」を企てようと思うけど、時間が過ぎていく〜 (G)

今回の津山市版事業仕分けでは市民評価委員の皆さんからも多くの意見が寄せられました。その中には広報活動の不十分さを指摘する発言も…。改めて広報の果たす役割の重要性を認識。紙媒体も含め市広報が市民の皆さんの目に触れる機会を増やす必要性を感じました。(修)

編集・発行 (毎月10日発行)

津山市総合企画部秘書広報室(市役所3階) 〒708-8501 岡山県津山市山北520番地
☎0868-32-2029 ☎0868-32-2152 ✉kouhou@city.tsuyama.okayama.jp

☆広報つやまはホームページ
で閲覧できます
<http://www.city.tsuyama.lg.jp/>



広報つやまは、環境保護のため再生紙と大豆油インキを使用しています。読み終えた後はリサイクル(雑誌)にご協力ください



東日本大震災復興支援運動「Proud! Japan」について

Proud! Japanというロゴマークとともに、「被災地の皆さんは日本の誇りです! だからみんなが応援しています」というエールを日本全国から被災地に送り、復興の力にしてみようという運動です。